

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 1 月 29 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

### [処理設備]

- ・H24/1/16 12:12 第二セシウム吸着装置を起動。12:17 定常流量に到達。
- ・H24/1/17 18:42 セシウム吸着装置を起動。18:45 定常流量に到達。
- ・H24/1/29 8:49 第二セシウム吸着装置において、処理流量に低下傾向が見られることから、フィルタの洗浄を実施するため、同装置を一時停止。その後、12:06、同装置を起動。12:18、定常流量(約 36.5m<sup>3</sup>/h)に到達。 今後もフィルタの洗浄を計画的に実施する予定。

### [貯蔵設備]

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/28 22:12～1/29 8:21 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/28 22:06～1/29 8:18 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・1/29 移送予定なし
移送先		移送先の水位状況 (1/29 7:00 時点)
プロセス主建屋		水位: O.P.+ 4,189 mm(水位上昇累計:5,406 mm) 1/28 7:00 から 51 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)		水位: O.P.+ 2,358 mm(水位上昇累計:3,084 mm) 1/28 7:00 から 93 mm 下降

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (1/29 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (1/28 7:00 と同じ)	O.P.+ 2,736 mm (1/28 7:00 から 15 mm 上昇)	O.P.+ 4,221 mm (1/28 7:00 から 14 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,084 mm (1/28 7:00 から 6 mm 上昇)	O.P.+ 3,056 mm (1/28 7:00 から 4 mm 上昇)	O.P.+ 3,223 mm (1/28 7:00 から 5 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,039 mm (1/28 7:00 から 4 mm 下降)	O.P.+ 2,945 mm (1/28 7:00 から 6 mm 下降)	O.P.+ 3,250 mm (1/28 7:00 から 5 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 2,979 mm (1/28 7:00 から 3 mm 上昇)	O.P.+ 3,000 mm (1/28 7:00 から 2 mm 下降)

< 放射性物質のモニタリング >  
海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	1/28	8:40	ND	0.04	0.04
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	1/28	8:20	ND	0.02	0.01
福島第二 3,4号機放水口付近	1/28	8:00	ND	ND	0.01
福島第二 1,2号機放水口南側約7km	1/28	7:40	ND	ND	0.01

・その他福島県沖合3地点(1/26採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

< 使用済燃料プールの冷却 > (1/29 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	12.5
2号機	循環冷却システム	運転中	12.5
3号機	循環冷却システム	運転中	11.9
4号機	循環冷却システム	二次系停止中	21

[2号機]・1/19 11:50 ~ 使用済燃料プールの塩分濃度を低減させるため、塩分除去装置の運転を開始。

[3号機]・1/14 15:18 ~ 使用済燃料プールの放射性物質除去のため、放射性物質除去装置の運転を開始。

[4号機]・1/29 9:35 頃 使用済み燃料プール代替冷却系において、システムの異常に関する警報が発生。現場を確認したところ、二次系の冷却水を循環させるポンプ(A)が停止し、二次系の冷却水の循環が停止していることを確認(警報発生時の燃料プール温度:21)。その後、現場を確認したところ、二次系のA系のエアフィンクーラーユニット(A1~A4の4ライン)のA2ラインから冷却水が漏れいしていることを確認。漏れい箇所であるユニットA2ラインの弁を閉操作したことにより、水漏れが停止したことを確認。

11:14 停止していた二次系ポンプを再起動し、使用済燃料プールの冷却を再開(再開時の燃料プール温度:21)

< 原子炉压力容器への注水・原子炉の状況 > (1/29 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約5.5 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約1.0 m <sup>3</sup> /h)	25.3	25.8	106.6 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約7.0 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約1.7 m <sup>3</sup> /h)	46.6	50.8	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約7.0 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約2.0 m <sup>3</sup> /h)	43.5	52.7	101.6 kPaabs

[1号機]・1/29 10:37 原子炉への注水について、高台炉注水ポンプの注水配管切替に関連し、給水系からの注水量を約4.5 m<sup>3</sup>/hから約5.5 m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約2.0 m<sup>3</sup>/hから約1.0 m<sup>3</sup>/hに変更。

[3号機]・1/29 10:00 原子炉への注水について、注水量の変動が確認されたため、炉心スプレイ系からの注水量を約1.5 m<sup>3</sup>/hから約2.0 m<sup>3</sup>/hに調整。

[4号機][5号機][6号機]・特に変化なし

< その他 >

・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止のため、5,6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を継続実施中。

・H24/1/11 ~ 集中廃棄物処理施設のプロセス主建屋と雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)間のトレンチにおける放射性物質を含む水溜まりの発見(H23/12/18)を受け、発電所構内のその他のトレンチ等の点検を開始。

日々の点検結果については別途参考配布資料を参照

・H24/1/29 9:50 頃 当社社員が原子炉注水系の流量調整操作作業において、現在待機中の原子炉注水用の非常用高台炉注ポンプ(C)系の流量計付近より水が漏れいしていることを確認。その後、漏れい部の近傍の弁を閉め、同日9:55に漏れいが停止したことを確認(漏れい量は確認中)。漏れい箇所は高台(事務本館前)で、付近の側溝に流れ込んだ形跡があることから、側溝から海への流出の可能性について、側溝下流

側の水のサンプリングをした結果、セシウム 134、セシウム 137 ともに検出限界値未満(検出限界値:セシウム 134  $2.4 \times 10^{-2}$  Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム 137  $2.9 \times 10^{-2}$  Bq/cm<sup>3</sup>)であることを確認しているが、今後引き続き流出の可能性について継続して調査予定。また、漏えい箇所付近の表面線量率は周辺の雰囲気線量率と同等であることを確認(蒸発濃縮装置出口水の至近の放射性物質濃度は主要3核種(H23/12/20 採取分)で検出限界未満(ヨウ素 131: $1.6 \times 10^{-2}$  Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム 134: $2.9 \times 10^{-2}$  Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム 137: $3.3 \times 10^{-2}$  Bq/cm<sup>3</sup>)、全ベータ核種(H23/11/29 採取分)で  $6.0 \times 10^{-1}$  Bq/cm<sup>3</sup>)。なお、原子炉への注水は常用高台炉注ポンプ(A)および(C)にて継続中。

本日 15:00 時点までに確認された他の水漏れは以下の通り

4号機使用済燃料プール2次系冷却ユニット(3箇所)

(ろ過水 :約 40リットル)

淡水化装置(逆浸透膜式)廃液供給ポンプA系ミニマムフローラインフランジ

(汚染水処理後で淡水化処理前の水:約 10リットル(堰の中))

[表面線量 線:0.6mSv/h、 線:35mSv/h、

雰囲気線量 線:0.11mSv/h、 線:2mSv/h]

3号機復水貯蔵タンクから2号へ注水する原子炉注水ポンプの流量計

(汚染水処理後水:約4リットル)

[雰囲気線量はバックグランドレベルと同等]

3号機復水貯蔵タンクから3号へ注水する原子炉注水ポンプの流量計

(汚染水処理後水:約4リットル)

[雰囲気線量はバックグランドレベルと同等]

淡水化装置(蒸発濃縮装置)脱塩器樹脂移送ラインフランジ

(汚染水処理後水:約 0.5リットル(堰の中))

[雰囲気線量はバックグランドレベルと同等]

淡水化装置(蒸発濃縮装置)ボイラーB系

(ろ過水 :約 25リットル(C系との合計値))

淡水化装置(蒸発濃縮装置)ボイラーC系

(ろ過水 :約 25リットル(B系との合計値))

使用済燃料プールへのろ過水の補給水ラインのヘッダー

(ろ過水 :約9リットル)

蒸発濃縮装置用ボイラー給水系のろ過器逆洗ラインの流量計

(ろ過水 :約 18リットル)

純水装置ろ過水ラインの流量計

(ろ過水 :約1リットル)

6号機 循環水ポンプの冷却水ラインフランジ

(純水(ろ過水を生成したもの):1分間7リットル程度で修理完了)

ろ過水:ダムより取水した水

以上